

会 見 年 月 日	令和7年1月22日（水曜日）		
担 当 課	観光課	（担当者名：山口）	
問い合わせ先	TEL：0791-43-6839	（内線：2261）	FAX：0791-46-3400
担 当 課	文化財課	（担当者名：中田）	
問い合わせ先	TEL：0791-43-6962	（内線：2324）	FAX：0791-43-6895

赤穂市日本遺産展 2025 の開催について

1. 趣 旨

赤穂市の2つの日本遺産を通じて、赤穂の魅力あふれる歴史文化を多くの方に知ってもらい、日本遺産の認知度向上を図ることを目的に、2つの企画展を同時開催します。

※ 赤穂市の2つの日本遺産

- ・「日本第一」の塩を産したまち 播州赤穂
- ・荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～

※ 2月13日は「日本遺産の日」です。

2. 内 容

- (1) 名 称 赤穂市日本遺産展 2025
- (2) 会 期 令和7年2月8日（土）～令和7年2月16日（日）
ただし、2月10日（月）は図書館休館日
観覧時間は午前10時から午後6時、金曜日は午後8時まで
最終日の2月16日（日）は午後5時まで
- (3) 場 所 日本海水赤穂ライブラリー（赤穂市立図書館） 1階 ギャラリー
- (4) 観覧料 無料
- (5) 主 催 赤穂市日本遺産推進協議会
- (6) 内 容

企画展1 2025 みんなでつくる赤穂市日本遺産写真展（担当：観光課）

「みんなでつくる」をコンセプトに、2つの日本遺産のストーリーや構成文化財に関連した魅力的な場面や風景等の写真を、令和6年7月1日～12月27日の間で募集しました。応募作品を展示し、来場者の投票により、優秀作品を選定します。

企画展2 塩専売を担った官庁～旧大蔵省赤穂塩務局～展（担当：文化財課）

明治38（1905）年、明治政府は塩の専売制の導入し、それとともに塩の専売を担当する官庁を全国に設置しました。塩の主要な産地であった赤穂には赤穂塩務局が置かれ、その庁舎として明治41（1908）年に洋風の事務所等が建築されました。

庁舎は117年を経た現在も、赤穂市立民俗資料館として当時の姿で保存されています。展示では、写真やパネル展示によって赤穂塩務局を紹介します。

赤穂市 日本遺産展 2025

2つの企画展を同時開催

日本海水赤穂ライブラリー(赤穂市立図書館)

1階ギャラリー

2.8[土] ▶ 2.16[日]

2025



企画展 ① 2025みんなで作る赤穂市日本遺産写真展

企画展 ② 塩専売を担った官庁～旧大蔵省赤穂塩務局～展

会期 令和7年2月8日(土)～2月16日(日)

10時～18時、2月10日(月)は休館

金曜日は20時、2月16日(日)は17時まで



Akko City's Salt
[日本海] 赤穂製塩 2025



KITAMAE-BUNE

主催 赤穂市日本遺産推進協議会 TEL 0791-43-6839 FAX 0791-46-3400

日本遺産とは

2月13日は日本遺産の日



地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が「日本遺産」に認定するとともに、ストーリーを語るうえで不可欠な魅力ある有形・無形の文化財群を地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内外に戦略的に発信することにより、地域の活性化を図ります。

赤穂市の2つの日本遺産



「日本第一」の塩を産したまち 播州赤穂

兵庫県赤穂市は、江戸時代に入浜塩田の一大生産地として栄えた、瀬戸内海に面したまち。市内各地にはその繁栄を体感できる数々の歴史文化遺産が残されています。赤穂は、いまでも塩の国なのです。



荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～

江戸時代に開かれた西回り航路によって全国の主要港をつなぎ、産物だけでなく文化をも運んだ北前船。赤穂市坂越にはその寄港地として栄えたことを伝える歴史文化遺産が、今も数多く残されています。

赤穂市日本遺産展2025では2つの企画展を同時開催！

企画展 ① 2025みんなでつくる赤穂市日本遺産写真展 概要

令和6年7月1日から12月27日までの間で、赤穂市の2つの日本遺産のストーリーや構成文化財に関連する写真を募集したところ、48作品の応募がありました。本展では、応募いただいた作品を展示し、あわせて、来場者による投票を行い、みんなで優秀作品を選定します。みんなが撮影した赤穂の魅力的な歴史文化をぜひお楽しみください。

協賛 赤穂市漁業協同組合、赤穂化成株式会社

赤穂市日本遺産推進協議会 日本遺産PR事業
**2025 みんなでつくる
赤穂市日本遺産写真展**
開催期間：令和7年2月8日（土）～16日（日）
開催場所：日本海水浴場ライブラリー（赤穂市立図書館）1階ギャラリー

フォトコンテスト
入賞券募集
締切
2025年11月30日

写真展の写真作品を募集します
赤穂市の2つの日本遺産「日本第一」の塩を産したまち 播州赤穂、「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」のストーリーや構成文化財に関連する写真や風景等である方が魅力を感じ赤穂市内の写真を募集します。

募集要項
募集期間：11月1日～11月30日
募集ジャンル：1. 風景写真 2. 人物写真 3. 建築物写真 4. 自然写真 5. その他
応募方法：赤穂市立図書館 赤穂市立図書館 赤穂市立図書館 赤穂市立図書館
お問い合わせ：079-441-1111（受付時間：10:00～18:00）
Eメール：akohi@city.akohi.lg.jp

企画展 ② 塩専売を担った官庁～旧大蔵省赤穂塩務局～展 概要

明治38（1905）年、明治政府は塩の専売制の導入し、それとともに塩の専売を担当する官庁を全国に設置しました。塩の主要な産地であった赤穂には赤穂塩務局が置かれ、その庁舎として明治41（1908）年に洋風の事務所等が建築されました。

庁舎は117年を経た現在も、赤穂市立民俗資料館として当時の姿で保存されています。展示では、写真やパネル展示によって赤穂塩務局を紹介します。

